



交通安全意識の高揚を図ることを目的とした、パレード及び街頭キャンペーンが、4月6日にありました。沖永良部警察署や各団体から約60名が参加し、役場前からのパレードのあと、交差点でチラシ配布などのキャンペーン活動を行い、ドライバーへ交通安全の協力を呼びかけました。

安全・安心のまちづくりを目指して



東北大学の古川柳蔵准教授らが4月15日、役場に「沖永良部島研究所」の看板を設置しました。この研究所では、国内4地域をモデルとする研究プロジェクトの一環で、昔の知恵を生かしながら新しいライフスタイルを考え、心豊かに暮らすための基盤構築を目指しています。

島の未来の暮らし方を考える



認定こども園きらきらの送迎バスの運行が、4月7日から住吉・正名・田皆地区の園児を対象に始まりました。このバスは、日本財団の福祉車両助成により導入され、現在10名の園児が利用しています。送迎バスは、来年4月に開園予定の知名地区の認定こども園でも導入される予定です。

送迎バスが運行開始



「NPO法人日本を美しくする会沖永良部掃除に学ぶ会」によるトイレ掃除が、4月17日、島内各公衆トイレでありました。両町から約60名が参加し、トイレ掃除の心構えや正しい掃除の仕方、片付け方などを会員の方から学びました。3時間かけて丁寧に掃除されたトイレは、見違えるほどきれいになりました。

トイレ掃除は心磨き



海のカーニバル2016（おきのえらぶ島観光協会主催）が、4月24日、ワンジョビーチでありました。当日は、巨大ソーメン流しやキハダマグロの解体ショーが行われ、ステージでは、エイサーやダンス、畦布センスル節、沖バスレンジャーの登場、バンド演奏などで、会場は大いに盛り上がりしました。

海のカーニバル2016！



平成28年度大島地区保育連合会総会及び研修会が、4月24日、フローラル館でありました。群島から保育園の職員約130名が参加し、27年度の実績報告及び28年度の事業計画など6議案の審議が行われたあと、車いすミュージシャンの森圭一郎さんによる講演とミニライブがありました。

大島地区保育連合会総会